

厚木基地騒音対策協議会による要請について

厚木基地の航空機騒音問題の解消に向けて、県及び厚木基地周辺9市の首長、議長等で構成する厚木基地騒音対策協議会（会長：黒岩祐治 神奈川県知事）が令和5年10月24日に開催され、25日、協議会として次のとおり要請活動を実施しましたので、お知らせいたします。

1 要請項目

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について

- (1) 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面実施すること
- (2) 恒常的訓練施設を整備すること
- (3) 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

2 要請先

内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在日米軍司令官、第7艦隊司令官、在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官及び第5航空団司令官

3 要請結果概要

防衛省 (深和岳人 地方協力統括調整官)	<ul style="list-style-type: none">○ 空母艦載機着陸訓練の硫黄島での全面実施について、防衛省としては、厚木飛行場周辺における騒音軽減は重要な課題であると認識しており、地元の皆様の負担が軽減されるよう、硫黄島での実施について、米側に繰り返し求めていく。○ 恒常的な訓練施設の整備について、馬毛島における施設整備は本年1月に島内における工事に着手しており、引き続き整備を進めていく。○ 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うことについて、米軍の運用に関し、米側から得られた情報は、今後とも厚木飛行場関係自治体の皆様方に、適切に情報提供するなど丁寧に対応していく。また、厚木飛行場周辺において航空機騒音自動測定装置を23ヶ所設置し、測定結果については、南関東防衛局のホームページに掲載しており、引き続き、騒音状況の把握及び情報提供に努めていく。更に、厚木飛行場周辺については、令和4年度から騒音度調査を開始し、現在も調査を実施している。調査結果等については、速やかかつ適切に情報提供していく。○ 航空機事故の防止、安全対策等の徹底について、厚木飛行場を運用している米軍機の運用に際しては安全の確保が大前提であり、引き続き米側に対し、安全管理に万全を期すよう引き続き求めていく。○ 騒音対策の徹底について、日米両政府として、日米合同委員会において、厚木飛行場における航空機騒音規制措置に合意し、夜間における騒音の低減や、人口密集地の飛行をできる限り避ける等の配
----------------------------	---

	<p>慮に努めている。その上で、これまでも累次の機会に米側に対して、騒音規制措置の遵守や土日祝日、年末年始、入学試験等の地元の重要な行事への配慮を申し入れており、引き続き航空機の運用による影響を最小限に留めるよう、様々なレベル、様々な機会を通じて米側に求めていく。また、住宅防音工事などをはじめとする各種施策を通じて、周辺住民の方々のご負担を可能な限り軽減できるよう最大限努力していく。</p> <p>○ 周辺対策については、各種施策の実施に努めるとともに、地元のご要望に沿えるよう、施策の拡充を行ってきている。特に厚木飛行場における住宅防音工事については、その促進に努めているところであり、引き続き設計事務所、また、施工業者の方々のご協力を得ながら執行するという前提のもと、地元からのご要望に沿えるよう、本体工事については、令和6年度の待機世帯の解消に努めていく。</p>
<p>外務省 (津野有希也 日米地位協定室 首席事務官)</p>	<p>○ 空母艦載機着陸訓練について、恒常的な訓練施設ができるまでは、可能な限り硫黄島で全てのFCLPを行うよう米側に求めていく。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、馬毛島における恒常的な訓練施設の整備及び早期の運用が重要だと考えており、外務省としても防衛省と協力し、引き続き本件への取組に一層力を入れていく。</p> <p>○ 厚木飛行場における騒音軽減について、平素の運用や共同訓練の機会を通じて部隊の戦術的技量、多国間共同対処能力、参加国との相互運用性の向上性を図ることが極めて重要。同時に地元を与える影響が最小限となるよう努めることも重要であり、引き続きそのための努力を継続していく。</p> <p>○ 厚木飛行場の運用について、政府としても、米側から情報が得られれば、可能な限り地元の皆様にご説明したいと考えており、特に米軍機による騒音問題について、地元の皆様に与える影響が最小限となるように、引き続き米側に対する働きかけを継続していく。</p> <p>○ 米軍機事故の防止に関して、我が国における米軍機の運用に際して、安全性が最大限確保されていることは当然のことと考えており、これまでも累次に渡り、米側に対しては申し入れているが、引き続き強く求めていく。在日米軍も平素から日々の定期的な整備、隊員教育等を実施し、安全管理に努めていると承知しているが、引き続き米側に対して安全面に最大限配慮するよう強く求めていく。</p>
<p>駐日米国大使館 (ロバート・マクドナルド 安全保障政策課 二等書記官)</p>	<p>○ 神奈川県内には多くの米軍基地があり、同盟国として、貢献していただいていることに感謝する。米軍の駐留に特有の課題があることは理解しており、米軍によき隣人となるよう働きかけている。</p> <p>○ 米軍人は真剣に問題を捉えており、日本防衛を達成するため、日々動いている。</p> <p>○ 空母艦載機着陸訓練については、訓練施設を整備することを日本政府に働きかけている。</p>